



Bank of Japan Nagasaki Branch

## 長崎県の金融経済概況

(2017年11月)

### 【概況】

長崎県の景気は、全体として緩やかな回復基調を続けている。

最終需要面をみると、公共投資は、総じて横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、持ち直しの動きがみられる。個人消費は、全体として底堅く推移している。観光関連は、基調として堅調に推移している。住宅投資は、堅調に推移している。

生産は、持ち直しの動きがみられる。また、雇用・所得環境をみると、労働需給は改善が続いており、人手不足感が強まっている。雇用者所得は持ち直しつつある。消費者物価は、前年を上回った。

12月短観における業況判断 D.I.（全産業）は、前回調査に比べて「良い超」幅が拡大した（9月短観：10→12月短観：15）。

この間、中小企業の景況感は、弱い動きとなっている。

#### 【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課

850-8645 長崎市炉粕町32番地

TEL：095-820-6110 FAX：095-820-0299

本資料は当店ホームページ（<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>）にも掲載しています。



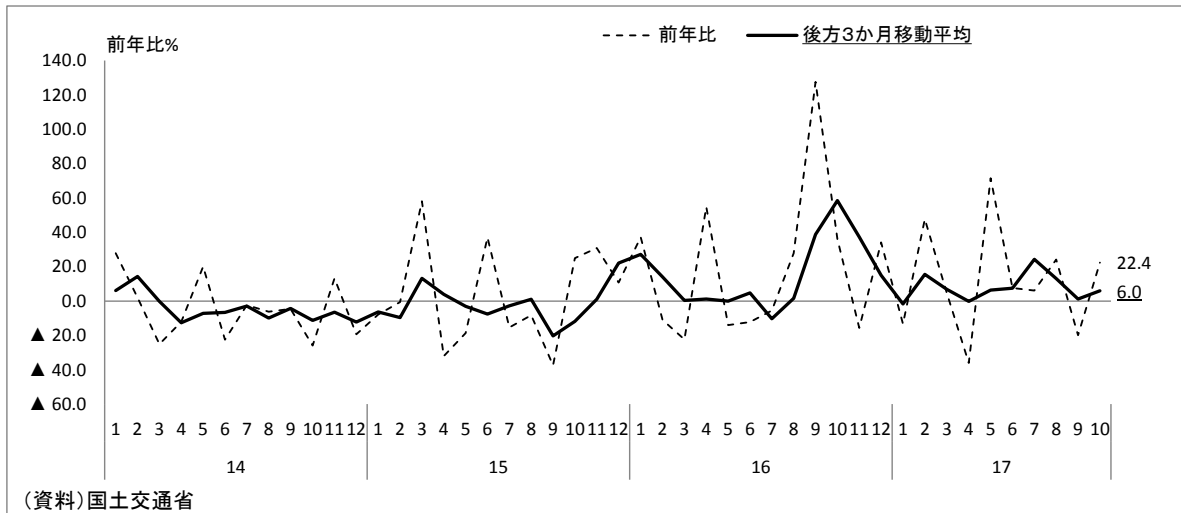


### (3) 住宅投資

住宅投資は、堅調に推移している。

新設住宅着工戸数(10月)は、貸家を中心に増加した。

【新設住宅着工戸数】



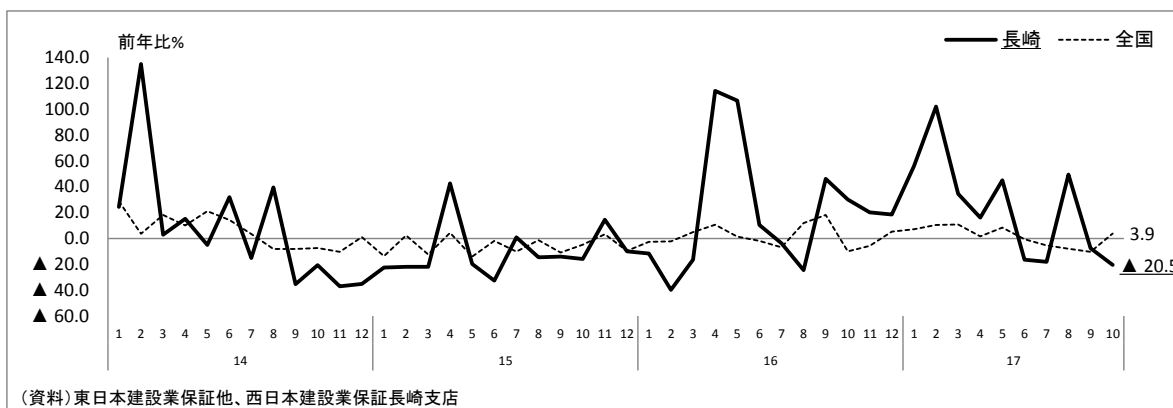
#### (4) 公共投資

公共投資は、総じて横ばい圏内の動きとなっている。

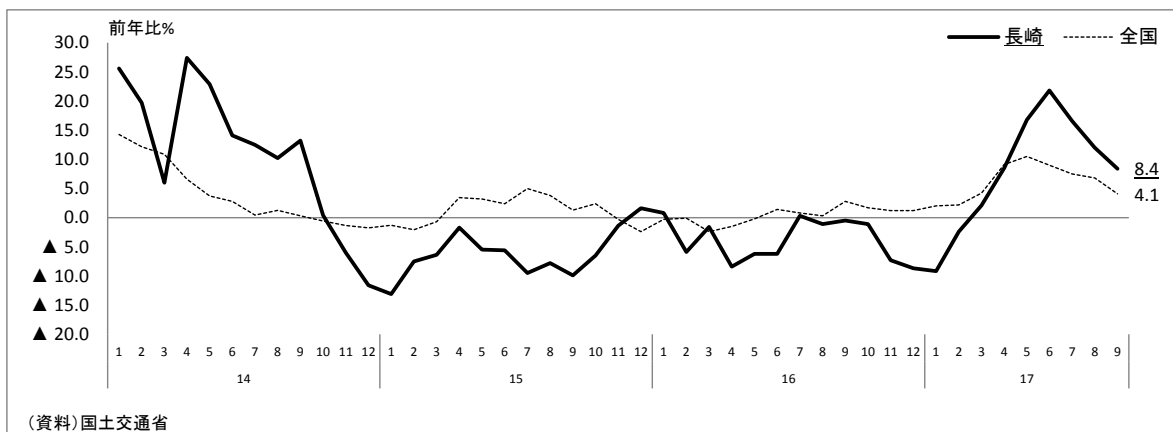
公共工事請負金額(10月)は減少したものの、建設工事出来高(9月)は増加した。

生コン出荷量は、県央地区を中心に底堅く推移している。

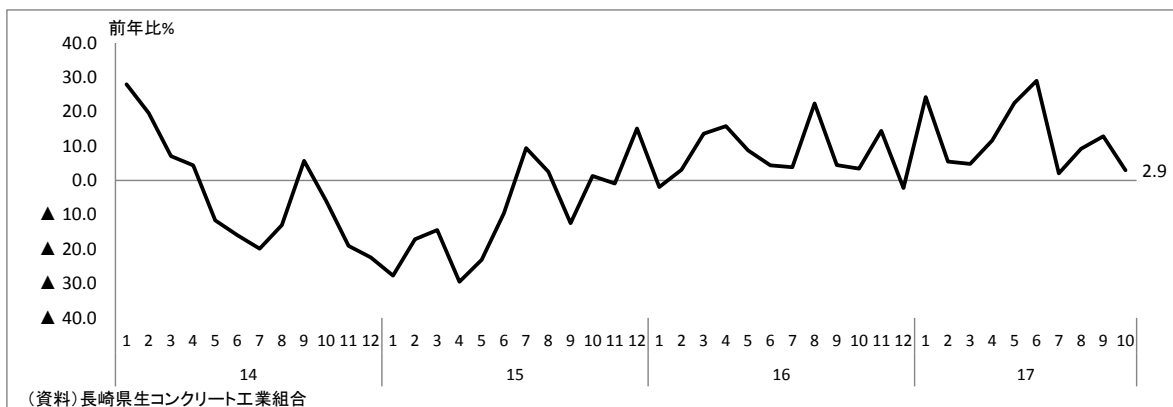
#### 【公共工事請負金額】



#### 【建設工事出来高】



#### 【生コンクリート出荷量】



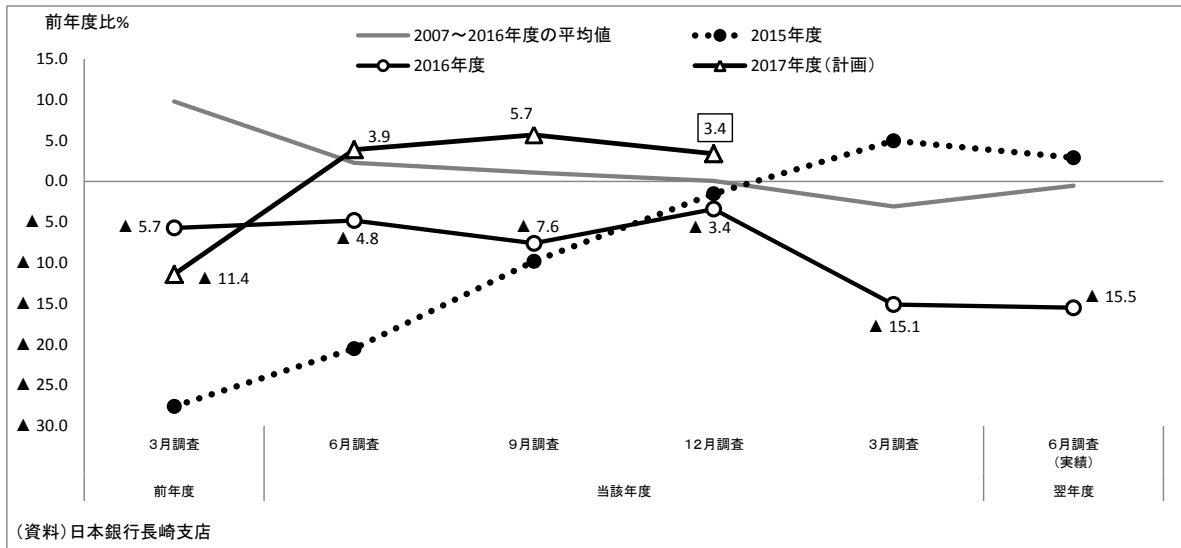
## (5) 設備投資

持ち直しの動きがみられる。

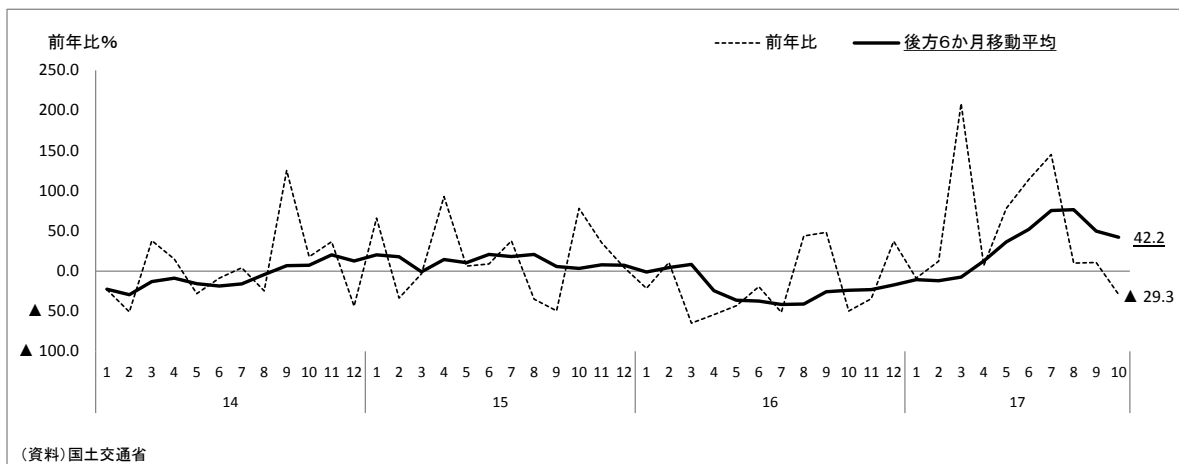
建築物着工床面積（10月、民間非居住用）は前年を下回った。

2017年度設備投資（2017年12月短観）は、非製造業において新規出店や更新投資、合理化投資の動きがみられることを主因に、全産業ベースで前年度を上回る計画となっている。

### 【短観（長崎県分）・設備投資額】



### 【建築物着工床面積（民間非居住用）】



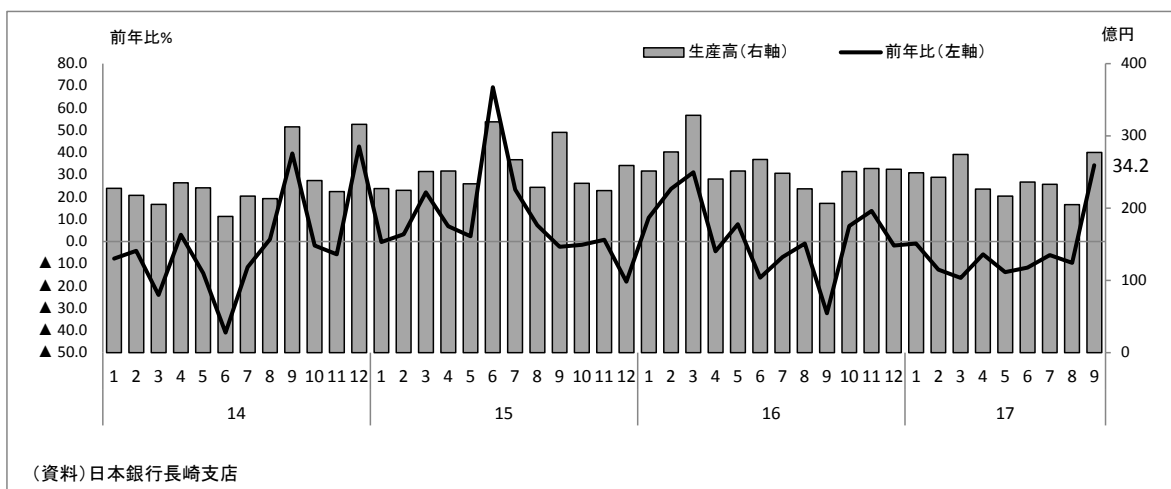
## (6) 生産

持ち直しの動きがみられる。

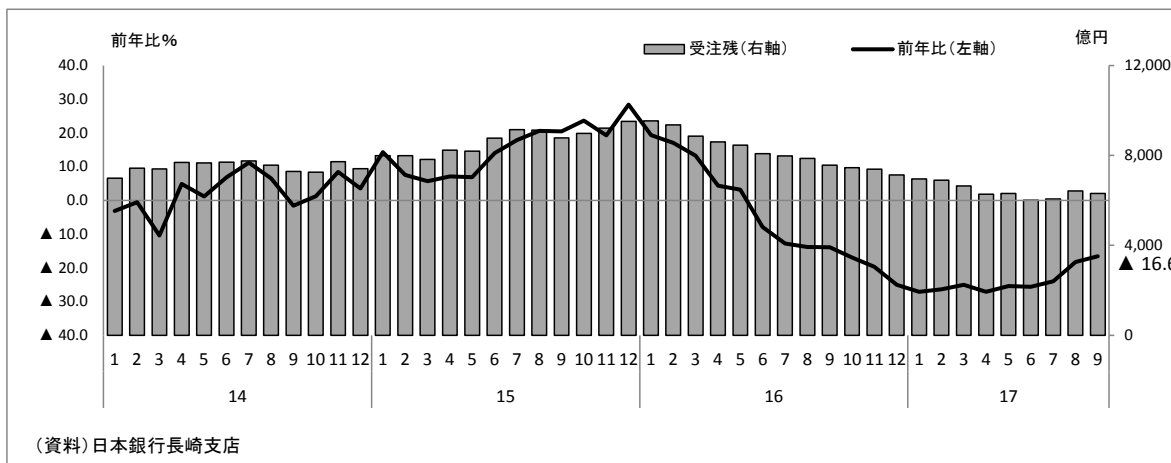
### (業種別生産動向)

業種		生産動向
造船	大手・中堅造船	操業度をやや引き下げている。
	中小造船	更新需要等を背景に高水準の受注残となっており、高操業が続いている。
機械・重電	原動機	高水準の受注残を確保しており、生産も増加している。
	大・中型モーター	持ち直している。
	冷熱機器	弱含みで推移している。
電子部品等		増加している。
陶磁器		弱めの動きとなっている。

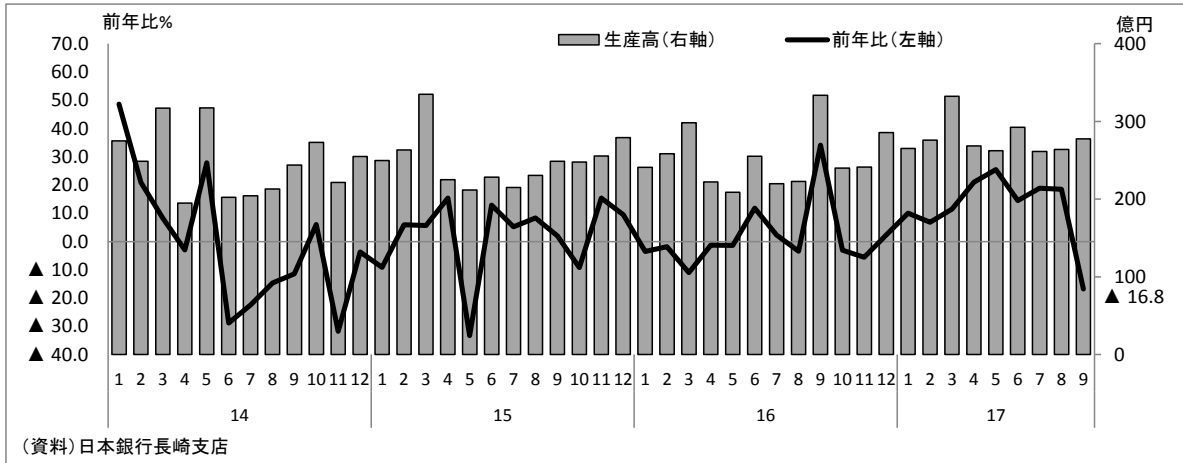
### 【造船生産高】



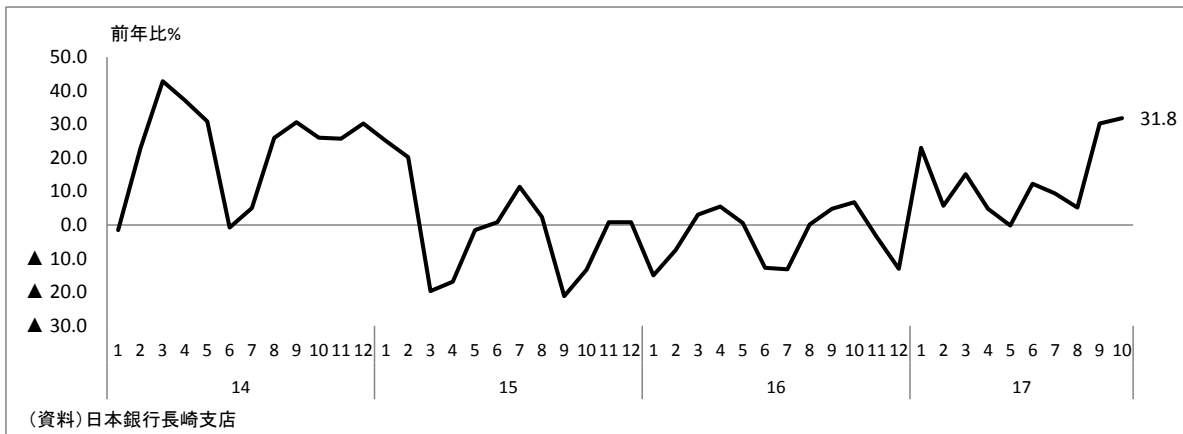
### 【造船月末受注残】



### 【機械・重電生産高】



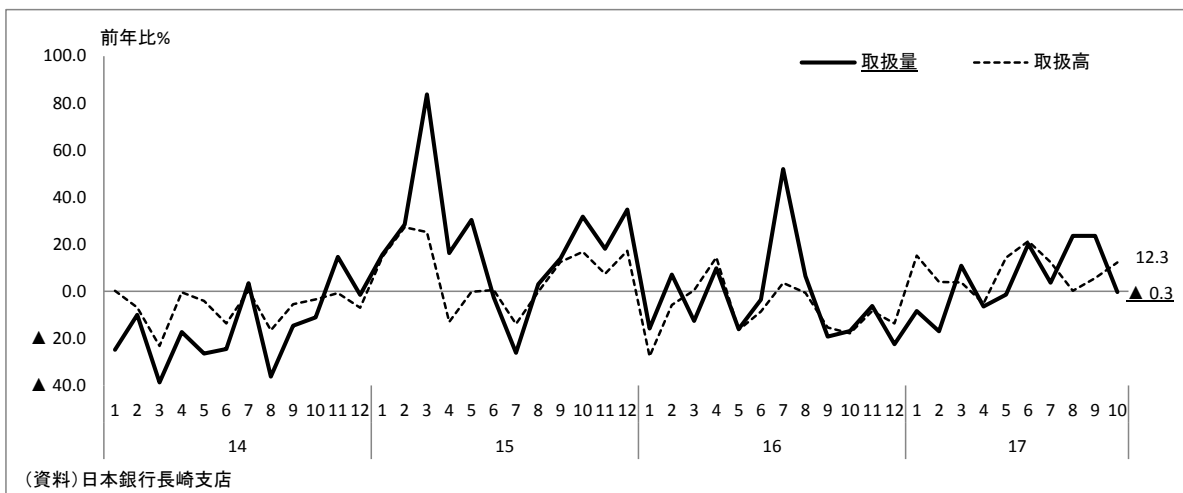
### 【電子部品等生産高】



### (水産業)

県内主要魚市場の取扱いをみると、取扱量は趨勢的に減少傾向にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。

### 【県内主要魚市場取扱量・取扱高】



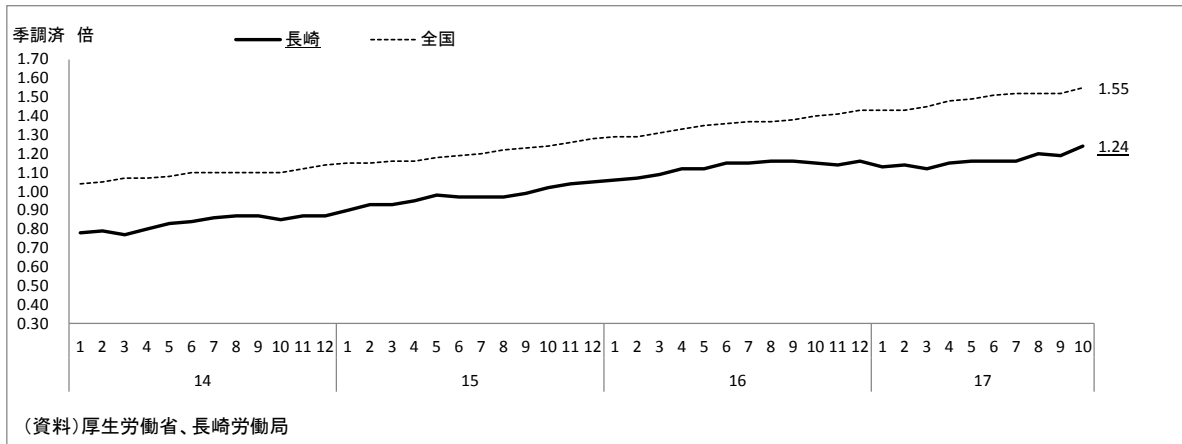


## (7) 雇用・所得

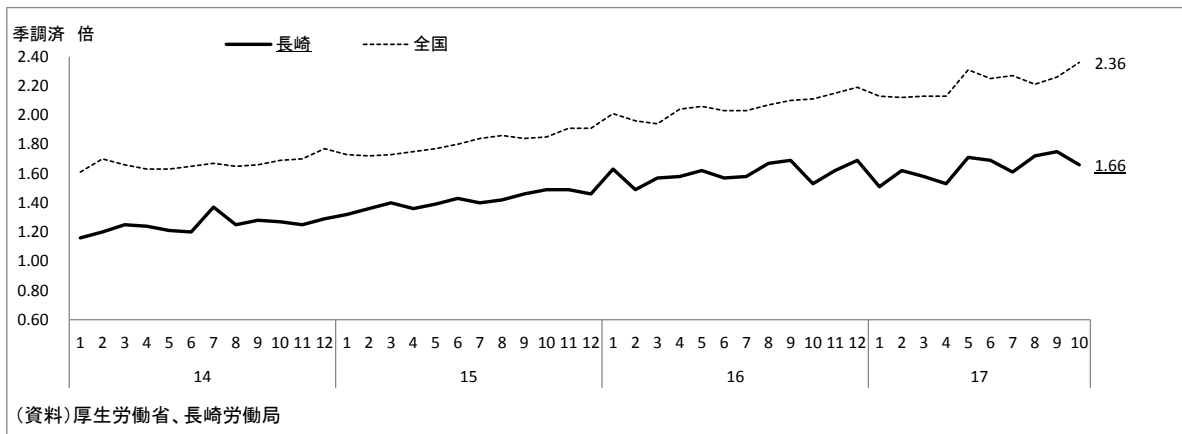
雇用・所得環境をみると、労働需給は改善が続いており、人手不足感が強まっている。雇用者所得は持ち直しつつある。

有効求人倍率（10月）は、1.2倍台で推移している。新規求人倍率（同）は1.6倍台となっている。雇用者所得（9月）は前年比増加した。

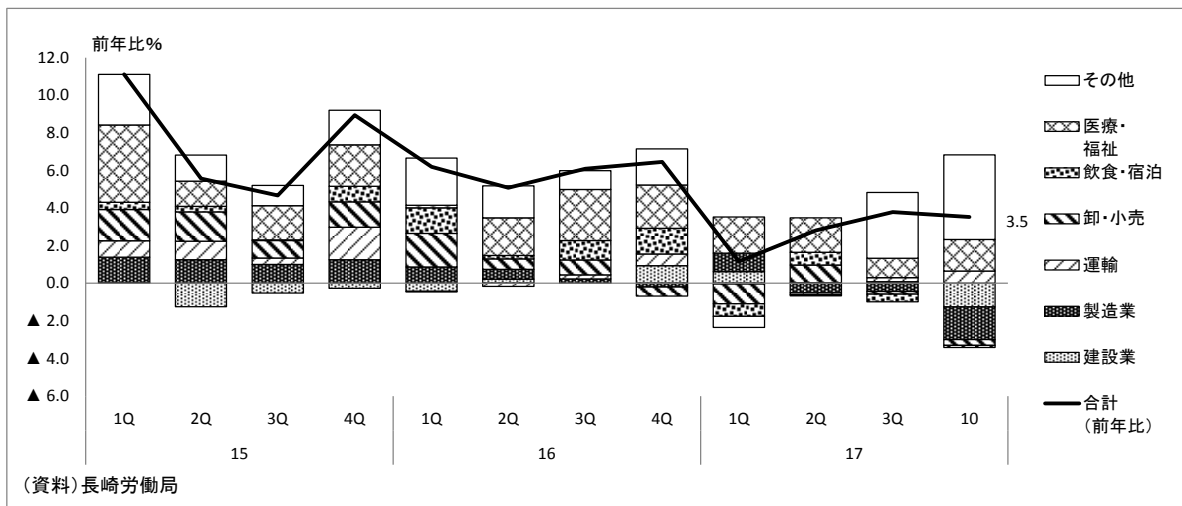
### 【有効求人倍率・季調済】



### 【新規求人倍率・季調済】



### 【新規求人（パート含む）の業種別寄与度】

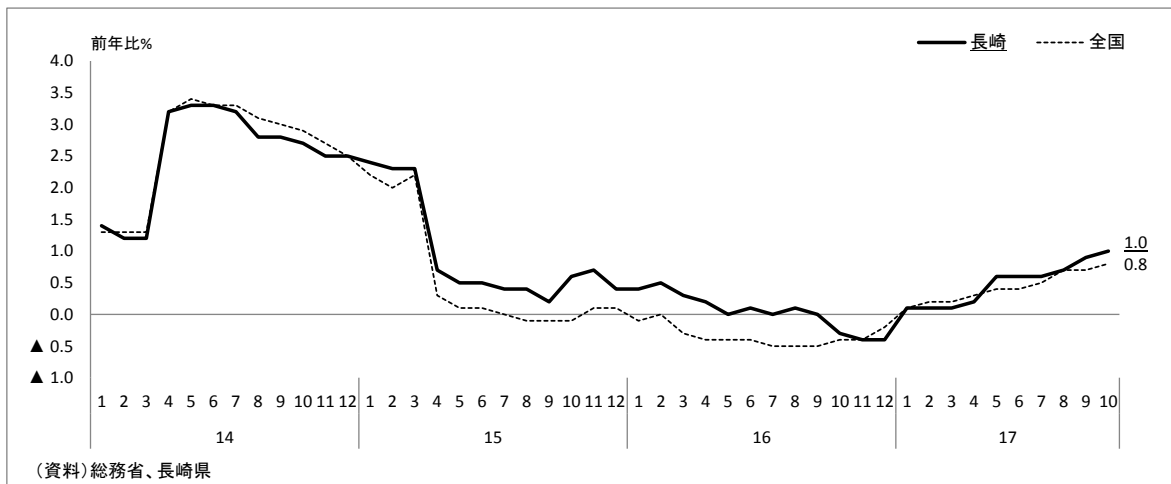




## (8) 物価

消費者物価指数（10月、生鮮食品を除く総合、長崎市）は、前年を上回った。

### 【消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）】

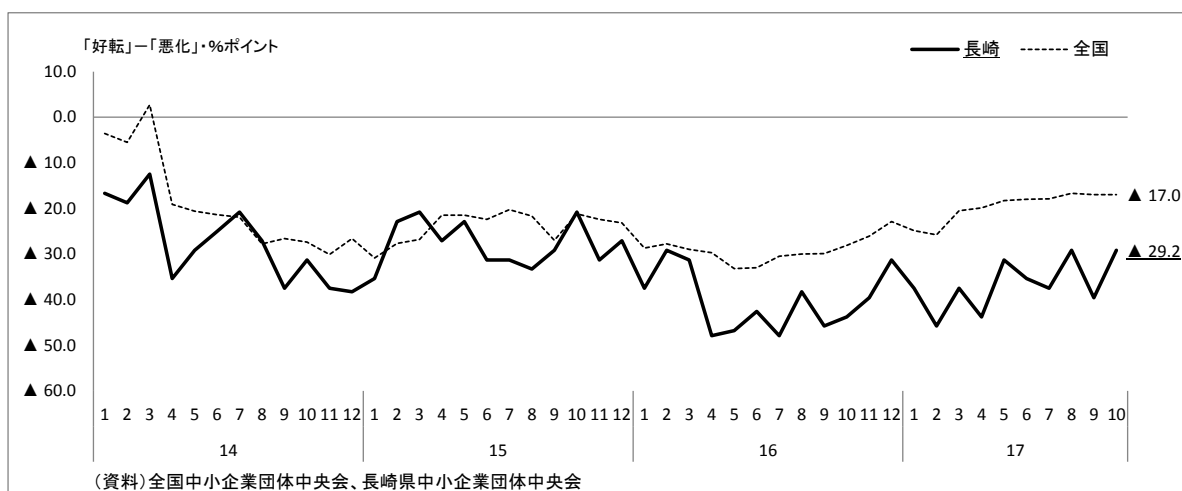


(注) ・15/12月以前は2010年基準、16/1月以降は2015年基準。

## (9) 中小企業の動向

中小企業の景況感は、弱い動きとなっている。

### (参考)【中小企業の景況指数】



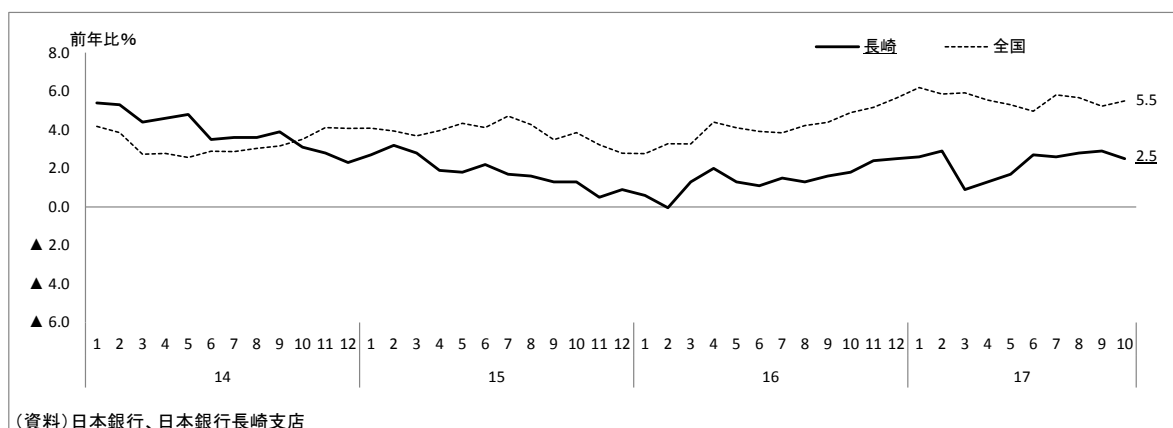
## 2. 金融事情

### (1) 預貸金動向

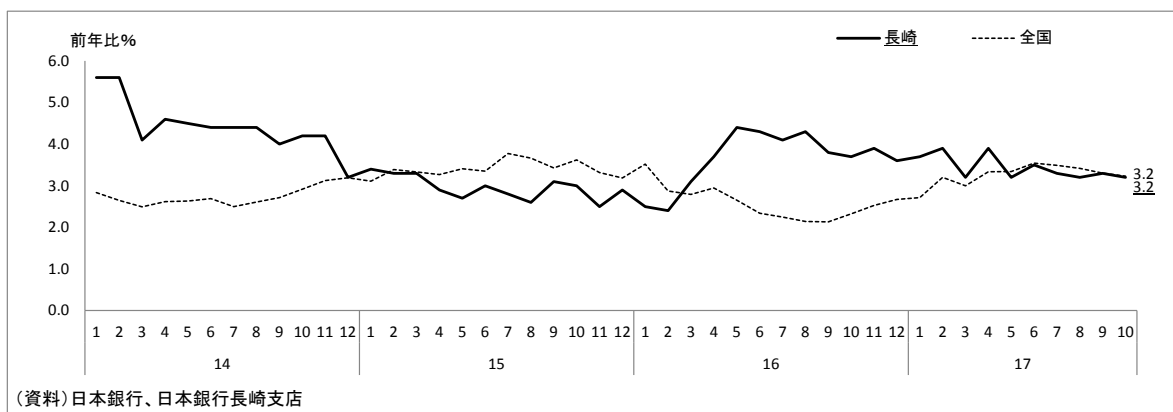
県内主要金融機関（県内所在店舗）の実質預金（10月、含む譲渡性預金）は、法人・個人預金を中心に、前年比+2%台半ばで推移している。

県内主要金融機関（同）の貸出金（同）は、法人向けや個人ローンを中心に、前年比+3%程度で推移している。

#### 【実質預金＋譲渡性預金（末残）】



#### 【貸出金（末残）】

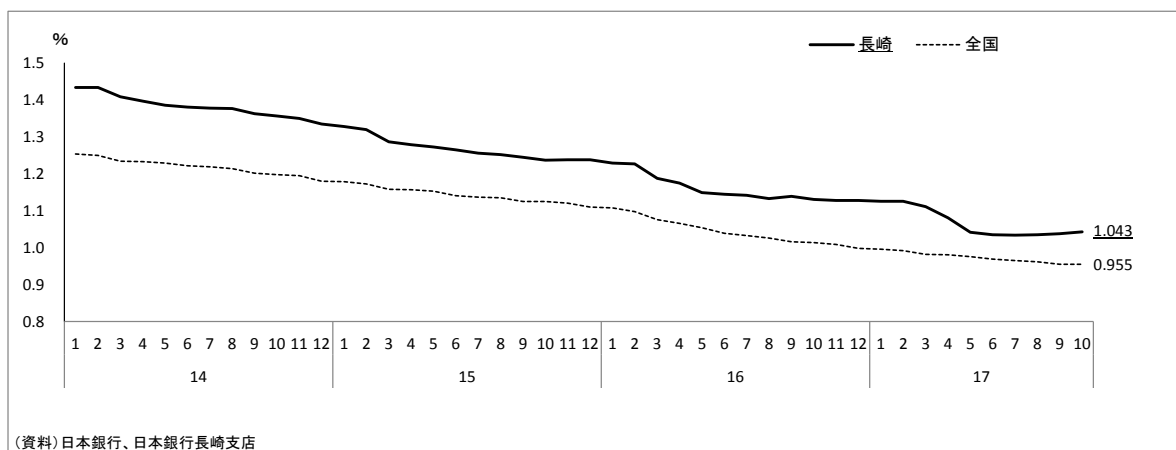


- (注)
- ・国内銀行（ゆうちょ銀行等を除く<以下同じ>）および信用金庫の県内店舗（全国は、国内銀行のみ）。
  - ・銀行勘定を集計。ただし、国内銀行については、オフショア勘定を除く。
  - ・実質預金は、預金から切手手形を控除したもの。
  - ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。

## (2) 金利動向

貸出約定平均金利（10月、ストック・総合、地元行ベース）は、前月を上回った。

### 【貸出約定平均金利（ストック・総合）】

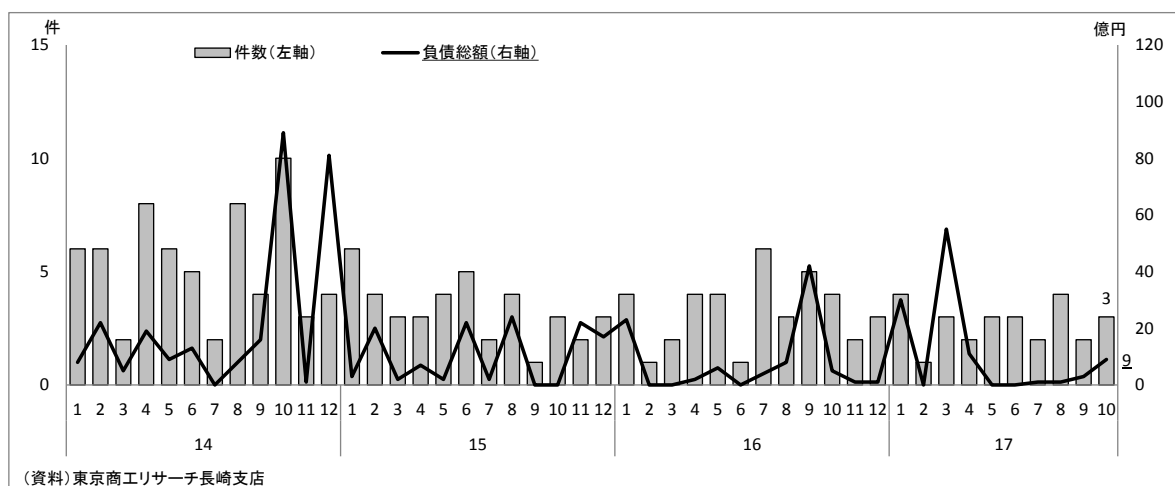


(注) ・国内銀行（ゆうちょ銀行等を除く。長崎は、県内に本店を置く国内銀行。）の貸出金利を貸出金残高で加重平均したもの。

## (3) 倒産

県内企業倒産（10月、負債総額10百万円以上）は、落ち着いた動きが続いている。

### 【企業倒産（件数、負債総額）】



(注) ・負債総額は億円未満切り捨て。